

## 橘小学校 令和7年度 学校評価アンケート集計結果について

早春の候、保護者の皆さまにおかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。本年度も残すところわずかとなりました。この一年間、本校の教育活動に対し、温かいご支援とご協力を賜りましたこと、心より感謝申し上げます。

さて、先日実施いたしました学校評価アンケートには、多くの保護者の皆さまにご協力いただき、誠にありがとうございました。アンケート結果を集計・分析したところ、以下のような成果と課題が明らかになりましたので、概要をご報告いたします。詳細につきましては、別添の資料をご覧ください。

### アンケート結果の概要

#### 【主な成果】

#### 1 安心して学べる学校づくりが進んでいる。

いじめに関する項目では、児童・保護者ともにほぼ100%の肯定的な回答が得られました。また、「困ったときに助けてくれる友達がいる」「地域が好き」といった項目も高水準で安定しており、人間関係の良さや地域とのつながりが本校の大きな強みとなっています。

#### 2 生活習慣の改善が見られる。

「早寝・早起き」「朝食を食べている」などの項目で高い評価が得られ、特に早寝・早起きの習慣は大きく改善しました。学校・家庭・地域が連携して取り組んできた成果と考えています。

#### 3 自己肯定感の育成が進んでいる。

「自分にはよいところがあると思う」と答えた児童は約8割、保護者からは100%の肯定的回答があり、ほめる教育やPBS（ポジティブな行動支援）の取組が子どもたちの自己肯定感の向上につながっていることがうかがえます。

#### 4 ICT活用や係活動の充実が進んでいる。

「タブレットでの学習が分かりやすい」「当番・係活動ができていく」といった項目は年々向上しており、学習のユニバーサルデザイン化や主体的な学びの推進が成果として表れています。

#### 5 体力づくりの取組が一定の成果を上げている。

「外遊びや体力づくりをしている」と答えた児童の割合が上昇しており、外部講師による指導や体育授業の工夫が効果を上げていると考えられます。

#### 【今後の課題】

#### 1 学習習慣のさらなる定着と学びの深まりに向けた取組が必要である。

「自主勉強や読書」「学んだことを生活で使っている」などの項目では、児童・保護者ともにやや低下傾向が見られました。今後は、学習習慣の安定と学びの質の向上に向けた取組を進めてまいります。

#### 2 授業の分かりやすさに関する児童と保護者の認識に違いがある。

児童の97%が「授業が分かる」と回答しており、高い水準を維持しています。一方で、保護者の評価は80%となっており、授業の様子や学習の成果が十分に伝わっていない可能性が考えられます。今後は、学習の過程や成果をより分かりやすく共有する工夫を進めてまいります。

#### 3 学校生活の充実感をさらに高めるための工夫が求められる。

「学校が楽しい」と感じる児童・保護者の割合が緩やかに減少しています。異学年交流や他校との連携をさらに工夫し、子どもたちがより一層充実感をもって学校生活を送れるよう、環境づくりに取り組んでまいります。

#### 4 学校の体力づくりを家庭での運動習慣につなげる取組が求められる。

児童の「外遊びや体力づくりをしている」という評価は向上していますが、保護者の評価は67%にとどまりました。学校では体育授業の工夫や外部講師による指導などに取り組んでいますが、それらが家庭での運動習慣につながっていないことが伺えます。今後は、体力づくりの取組や成果をより分かりやすく発信し、保護者の皆さまと共有していきたいと思っております。

今回のアンケート結果を踏まえ、保護者の皆さまからいただいた貴重なご意見を今後の教育活動に生かし、子どもたちがよりよい環境で学び、健やかに成長できるよう、学校全体で取り組んでまいります。引き続き、ご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。